



令和5年1月2日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、令和4年12月17日（土）から27日（火）に引き続き、28日（水）から31日（土）にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）を含む複数の中国海軍艦艇が、以下のとおり太平洋上の我が国周辺海域において航行していることを確認した。

日時	位置	確認された艦艇
12月28日（水） 午後8時頃	沖大東島の東 約360km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） レンハイ級ミサイル駆逐艦（104） フユ級高速戦闘支援艦（901）
12月29日（木） 午前8時頃	沖大東島の北東 約310km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） レンハイ級ミサイル駆逐艦（104） フユ級高速戦闘支援艦（901）
12月30日（金） 午後8時頃	北大東島の東 約530km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） レンハイ級ミサイル駆逐艦（103及び104） ジャンカイⅡ級フリゲート（542） フユ級高速戦闘支援艦（901）
12月31日（土） 午後8時頃	沖大東島の南 約220km	クズネツォフ級空母「遼寧」（16） ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（120） レンハイ級ミサイル駆逐艦（103及び104） ジャンカイⅡ級フリゲート（542） フユ級高速戦闘支援艦（901）

※ 確認された艦艇欄の括弧書きは艦番号を示す。

また、12月28日（水）から31日（土）にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」の艦載戦闘機によるもの約20回及び艦載ヘリによるもの約40回、計約

60回の発着艦を確認した。これにより、12月17日（土）から31日（土）までに確認した我が国周辺海域での発着艦の実績は、計約320回となった。

※ 四捨五入により、内訳と計は必ずしも一致しない。

さらに、その後、令和5年1月1日（日）、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」1隻（艦番号「16」）、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻（艦番号「120」）、レンハイ級ミサイル駆逐艦2隻（艦番号「103」及び「104」）、ジャンカイⅡフリゲート1隻（艦番号「542」）及びフユ級高速戦闘支援艦1隻（艦番号「901」）の計6隻が沖縄本島と宮古島（沖縄県）との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、12月16日（金）に沖縄本島と宮古島（沖縄県）との間の海域を南下したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第5護衛隊所属「ありあけ」（佐世保）、第1海上補給隊所属「とわだ」（呉）及び第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、所要の情報収集・警戒監視を行った。また、艦載戦闘機の発着艦に対し、航空自衛隊の戦闘機を緊急発進させる等を行い対応した。

クズネツォフ級空母「遼寧」(艦番号「16」)



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「120」）



レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「103」）



レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「104」）



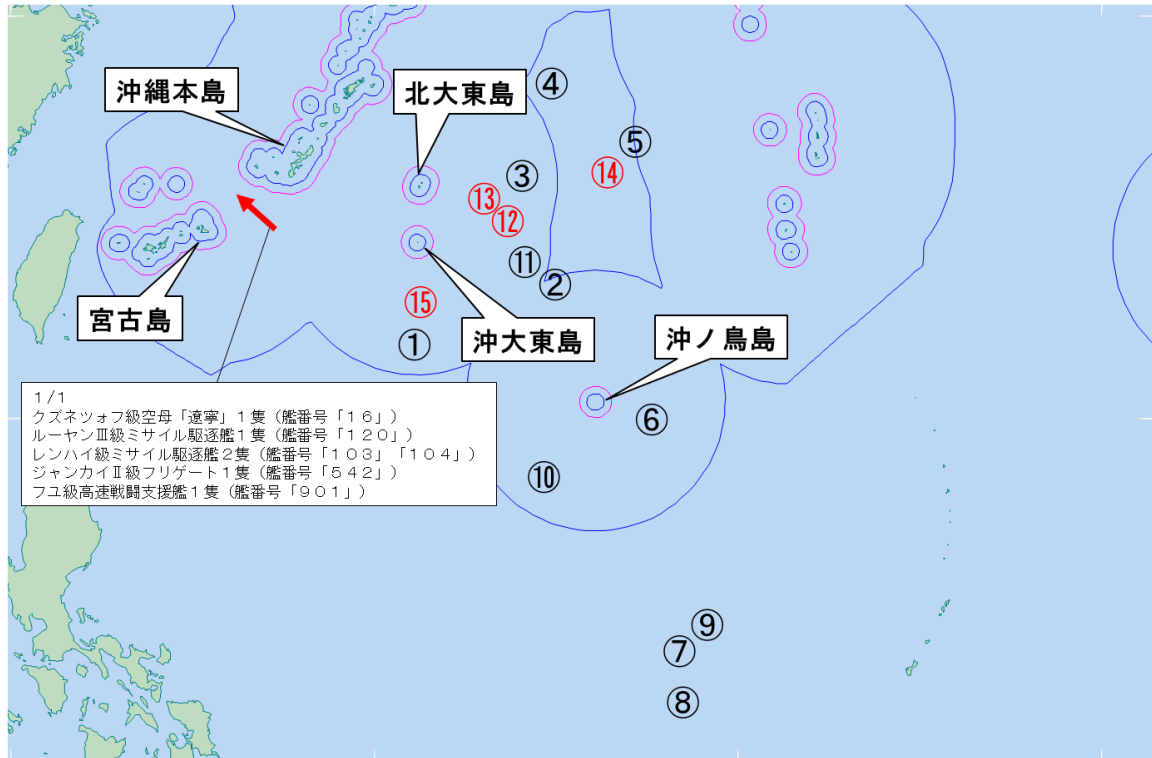
ジャンカイⅡ級フリゲート（艦番号「542」）



フユ級高速戦闘支援艦（艦番号「901」）



行 動 概 要



1/1
 クズネツォフ級空母「遼寧」1隻（艦番号「16」）
 ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻（艦番号「120」）
 レンハイ級ミサイル駆逐艦2隻（艦番号「103」「104」）
 ジャンカイⅡ級フリゲート1隻（艦番号「542」）
 フユ級高速戦闘支援艦1隻（艦番号「901」）

→ : 中国海軍艦艇

※ 中国海軍艦艇の航行を確認した位置（赤字が今回公表分）

番号	日時
①	12月17日（土）午後8時頃
②	18日（日）午後8時頃
③	19日（月）午後8時頃
④	20日（火）午後8時頃
⑤	21日（水）午後8時頃
⑥	22日（木）午後8時頃
⑦	23日（金）午後8時頃
⑧	24日（土）午前1時頃
⑨	25日（日）午後8時頃
⑩	26日（月）午後8時頃
⑪	27日（火）午後8時頃
⑫	28日（水）午前8時頃
⑬	29日（木）午後8時頃
⑭	30日（金）午後8時頃
⑮	31日（土）午後8時頃